

2022年度 日本工学院専門学校											
デザイン科/プロダクトデザイン専攻											
基礎デザイン実習C											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	佐藤 知美			実務 経験	有	職種	プロダクトデザイナー				
担当教員紹介											
<p>デザイナーとしてメーカー、デザイン事務所に勤務。 国外にてマスター取得後、事務所を設立。 プロダクトデザインを中心にデザイン全般を制作。</p>											
授業概要											
<p>基礎的なプロダクトデザインの製図の技術を修得します。これから経験していく仕事の現場で、役に立つ製図の知識と技術を学び、製図用具の正しい使い方と三面図の理解と製図の方法を身に付けるようになります。 プロダクトデザインの「製図」に関連する知識と技術を理解し、デザイン提案をする際に必要な能力を積極的に学び、実践することができるようになるのが狙いである。</p>											
到達目標											
<p>学生がプロダクトデザインの基礎製図を学び、製図規格・用具・製図法・図法・寸法・作例・実例の категорияからプロダクトデザインの製図を理解して、社会で活躍するために必要な技術や知識を向上させること、段階的に図面の概念、図面の種類、製図用具の使い方、線の練習して、三面図の製図ができるようになることを目標にしている。</p>											
授業方法											
<p>この授業では、教科書の内容に沿って、講師からの解説を受け、製図道具の使い方から線の種類、図法、作例のトレースと段階的に基礎的なプロダクトデザインの製図する授業です。 講師のデモンストレーションから学びを深め、学生の「プロダクトデザインの製図力」を育成していく。 この授業に主体的に参加する学生が、自分の「プロダクトデザイン基礎製図」を自分自身の実践し、活用できるようになることを目指す。</p>											
成績評価方法											
理解度	50%	提出課題完成度を総合的に評価する									
平常点	50%	授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
<p>学生に基礎的なプロダクトデザインの製図から、プロダクトデザインに触れてもらう機会になります。 作図の仕方、表現法を知り、今後、現場で求められる3DCADの修得に推移を考えた前段階の実習になります。 ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者はこの科目合格することができない。</p>											
教科書教材											
<p>毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする</p>											
回数	授業計画										
第1回	【図面の概念 製図用具の使い方】 図面の概念を知る										
第2回	【線の種類】 線の種類を把握する										
第3回	【三面図作成(ブロック)】 各種ブロックの三面図を把握する										
第4回	【三面図作成(ブロック)】 各種ブロックの三面図を把握する										
第5回	【三面図作成(ブロック)】 各種ブロックの三面図を把握する										

2022年度 日本工学院専門学校	
デザイン科/プロダクトデザイン専攻	
基礎デザイン実習C	
第6回	【三面図作成(ブロック)】各種ブロックの三面図を把握する
第7回	【ツール - 三面図】作例ツールを製図する - 三面図について理解する
第8回	【ツール - 三面図】作例ツールを製図する - 三面図について理解する
第9回	【コーヒーカップ - 三面図】作例コーヒーカップを製図する - 三面図について理解する
第10回	【コーヒーカップ - 三面図】作例コーヒーカップを製図する - 三面図について理解する
第11回	【家電製品 - 三面図】作例家電製品を製図する - 三面図について理解する
第12回	【家電製品 - 三面図】作例家電製品を製図する - 三面図について理解する
第13回	【テーブル - 部品図】作例テーブルを製図する - 三面図について理解する
第14回	【テーブル - アセンブリ図】作例テーブルを製図する - 三面図について理解する
第15回	【すべての図面完成】全体のまとめ